

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東海)	◎	百貨店（経理担当）	・新型コロナウイルスの第6波の発生リスクの減退に伴って消費マインドが改善するほか、Go Toキャンペーンの再開に伴う飲食やレジャー関連消費の伸長によって、景気は大きく上向くと考える。
	◎	百貨店（販売促進担当）	・第6波はもう少し先になる様子で推移していると感じられ、当面は景気が良くなると予測している。
	◎	コンビニ（商品企画担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数は下げ止まりの傾向が続き、2月のGo To Travelキャンペーン事業再開などの効果が見込まれるため、景気が回復すると判断する。
	◎	衣料品専門店（売場担当）	・寒くなってきたことや成人式や就職活動用でスーツやコートを購入する客が増えてくる。礼服をセットで購入する若い客も増えてきていることから、スーツの需要が更に高くなると見込む。
	◎	乗用車販売店（経営者）	・12月以降は生産のめどが付いてくるようである。また新型車の発表会も続くので、今後には期待できる。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染が収束して、影響の大きさはインフルエンザ並みになっていくと思われる。
	○	一般小売店 [高級精肉]（常勤監査役）	・新型コロナウイルスの終息を願っている。
	○	一般小売店 [結納品]（経営者）	・年が明けて、新型コロナウイルスも収束すれば、少し良い方向にいくと見込む。
	○	一般小売店 [土産]（経営者）	・第6波が来ると脅されているうちは、急速な回復は夢のまた夢のような気がしてならない。
	○	一般小売店 [贈答品]（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数がゼロの地域が増え、当県もゼロが続いているため、イベント開催が増えて企業も活発化する。県からの助成金も出て、3か月後には段々と良くなっていくと感じられる。新型コロナウイルスの影響で自粛していた経済活動が感染対策をしながらできるようになり、3か月後は今よりもやや伸びていく方向にある。
	○	一般小売店 [生活用品]（販売担当）	・このまま新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていけば、年末年始にかけて購買客も増えるように思われる。
	○	百貨店（企画担当）	・9～11月と新型コロナウイルス新規感染者数の減少に合わせて、消費者が食事や買物などの目的で外出する機会が増えてきていると実感している。それに合わせて店舗内への来客数及び売上額も増加傾向に転じている。ただし、前々年の実績は下回っており、衣料品関係が気温の影響もあって伸び悩むなど、完全に復調しているとは言い難い。
	○	百貨店（営業担当）	・市中の新型コロナウイルス新規感染者数は連日ゼロが続き、マインドが変わりつつある。新しい生活様式に対応しながら、徐々に回復していくことが予想される。
	○	百貨店（営業担当）	・目に見えて飲食店や旅行への動きがある。
	○	百貨店（業績管理担当）	・新型コロナウイルス新変異株の影響がなければ、行動制限などがより緩和されることで一層回復すると考えられる。
	○	百貨店（販売担当）	・このまま落ち着けば外出機会も増え、売上増加も見込める。しかし、まだどうなるか分からない状況なので大きくは好転しない。
	○	スーパー（販売担当）	・コロナ禍での外出制限が解除されて皆が外に出るので、買物回数が多くなり、今後は良くなる。
○	コンビニ（エリア担当）	・観光地、繁華街での人流の戻りが顕著になってきており、今後、その波及が一部から全体に巡ってくる。	
○	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス新変異株が海外で確認されたとはいえ、国内においてはワクチン接種率、基本的な感染症対策の徹底継続から、この数か月に新規感染者数の急増は起こり得ないと思われる。観光業を除いて、通常の経済活動は季節的にも活発傾向となるのではないかと考える。	
○	衣料品専門店（売場担当）	・足元では新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向にあり行動規制も緩和されている。引き続き油断できない状況下ではあるものの、この行動規制の緩和は、今後の景気回復につながると思われる。	

○	衣料品専門店（販売企画担当）	・一時的にしる、少し動きが出てきているので期待したい。
○	家電量販店（店員）	・大型テレビやドラム式洗濯機などを検討する客が増えてきた。
○	家電量販店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染症対策における行動制限の緩和に伴い、経済活動が活発化する。また、コロナ禍において影響が大きかった業種の人々の収入も安定すると思われる。
○	乗用車販売店（営業担当）	・コロナ禍で収入が減って苦しんでいる人も当然いるが、そうではない人たちがこれまでの自粛の反動で使えなかった金を使うことによって、消費が回復する。
○	乗用車販売店（経営者）	・新車もそうだが、いろいろな物が不足気味で少しインフレ基調であり、景気には良い流れかと思われる。
○	乗用車販売店（従業員）	・多少は良くなると思われる。今まで皆が我慢していた分が動いているが、新型コロナウイルス次第であり、新型コロナウイルスの感染がまた広がれば一気に冷え込む可能性がある。
○	乗用車販売店（従業員）	・不透明ではあるが生産調整には解除のめどがある程度立ったようなので、少しホッとできる状況になると思われる。客の新型車への関心は変わらないので、生産さえ戻れば期待できる。
○	乗用車販売店（営業担当）	・部品供給と生産が追いつかないところもあるが、少しずつ消費傾向がみられ、その流れのなかで年明けからは繁忙期に向かうので、期待している。
○	住関連専門店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が小康状態になり、契約、工事の打合せが少しずつ前向きに出始めている。新規物件についても商談が入り始めている。
○	その他専門店〔貴金属〕（経営者）	・緊急事態宣言の解除後、人流は旅行へと向いているようで、物販が向上してくるのは、第6波がなければ、年明けを過ぎてバーゲンセールの時くらいと見込まれる。
○	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束しつつある。
○	都市型ホテル（営業担当）	・期待含みとなるがGo To Travelキャンペーンが開始になれば、宿泊やレストランの需要が増えてくる。
○	旅行代理店（経営者）	・Go To Travelキャンペーンやその他需要喚起事業が進む前提で、景気は良くなる。
○	旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の終息、Go To Travelキャンペーンの再開と県の観光消費喚起策の活用で、景気も少し良くなる。
○	旅行代理店（営業担当）	・Go Toキャンペーンの情報が1人歩きしないよう慎重に発表をしてほしい。発表を待っていた客が、結局は秋のシーズンの旅行を諦めた事例が数件ある。
○	通信会社（営業担当）	・今後も機器更改による受注が続くと思われる。
○	美容室（経営者）	・クリスマスや正月が近づいているため、施術をする客が少々増える。
○	住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルス新規感染者数の大幅な減少がみられ、これから受注量の増加が期待できる。
○	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	・新型コロナウイルスの感染がこのまま落ち着けば、例年どおり繁忙期に入るので、かなり回復できる。
□	商店街（代表者）	・コロナ禍から完全に回復しないと元の状態には戻らない。また、様々な物価の上昇で、客の購買力が相対的に下がると感じている。
□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少傾向が続けば若干は良くなると思うが、第6波の話も聞こえてくるので、新規感染者数の動きによって一喜一憂することになる。
□	商店街（代表者）	・給付金がかかなり限定されてしまったため、地方の零細店にまでは消費活動の拡大が波及してこないと思われ、今までと状況は変わらないと考える。
□	商店街（代表者）	・ここまで長期的に自粛に慣れてしまった状況では、新型コロナウイルス新変異株が現れたこともあり、良くなる材料はない。
□	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・コロナ禍の2年で、客の飲食店利用の仕方が大きく変わろうとしている。
□	一般小売店〔生花〕（経営者）	・消費の落ち込みはなかなか回復しない。給料も上がらないし、物価の上昇も止まるところを知らず、不安に思う消費者が多いのではないかと考える。

<input type="checkbox"/>	一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月ほどでは変わらない。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔書店〕（営業担当）	・引き続き年度末への残予算消化需要がある。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・新型コロナウイルス、円安や原油高の状況の先行きが分からないため、どちらともいえない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（売場主任）	・国内で新型コロナウイルスの感染が収まったとしても、東南アジアなど海外で生産している靴の工場が閉鎖していると商品が入ってこないため、客から問合せがあっても入荷しないという案内しかできず、売上も厳しくなる。メーカーも余り在庫を持たないようにしているため、サイズ切れが多く発生して売上がまた少し落ち込むと思う。
<input type="checkbox"/>	百貨店（計画担当）	・客の来店意欲が増してきているが、コロナ禍の状況が見通せず、客も状況に敏感であるため、一進一退が続くと思われる。
<input type="checkbox"/>	百貨店（販売担当）	・来客数が思ったほどは戻っていない。ショッピングモールは緊急事態宣言が解除されても真っ先に行くところではない様子である。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	・参拝客は増加しているが、どの店も席数を減らしておりすぐに満席状態となる。回転数には限りがあり、店舗での売上増加は難しい状況である。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店員）	・全ては新型コロナウイルス新変異株の広がり次第だと思う。教の子など年末商品が若干値上がりしているが、足元の来店客の購買状況をみていると、期待をして良いと思う。
<input type="checkbox"/>	スーパー（総務）	・新型コロナウイルス新規感染者数の激減により客の購買意欲が高まっており、週末は家族連れの来客数が増えてきている。足元の新規感染者数で推移すれば期待できるが、2～3か月後ではまだ不安が残る。
<input type="checkbox"/>	スーパー（営業企画）	・足元の状況は今までの反動で一時的に外食にシフトしているところもあり、第6波が予測されるなかで新型コロナウイルスの完全な終息までは、小康状態が続くのではないかと。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	・外食傾向になりつつあるので、売上前年比が悪い状態は続く。
<input type="checkbox"/>	スーパー（商品開発担当）	・来客数は前年をやや上回る数値で推移しているが、売上は予算、前年同期に比して未達が続く、増加する見通しが立たないため、今後2～3か月後の景気もほぼ変わらないと考える。
<input type="checkbox"/>	スーパー（支店長）	・今のところ新型コロナウイルスは落ち着いた様子であるが、まだまだ消費の回復には至っていないのが現場の実状である。客の動きも芳しくなく、様子見しているような気がする。年明けに新型コロナウイルスの感染が再拡大しそうなメディア報道をみても、まだまだ消費の回復は厳しそうである。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの感染再拡大やインフルエンザなどの流行による緊急事態宣言の再発出等の行動抑制がなければ、現状の来客数を維持できると考えている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス新変異株の影響次第で、悪くなると思われる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況次第である。もし1～2月に第6波があれば、足元と状況は変わらず、やや下降気味になる可能性が十分にある。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（商品開発担当）	・当地域で影響度の高い自動車関連製造業での半導体不足によるライン停止や残業なしが緩和されれば来客数は回復するが、新型コロナウイルスの第6波が気掛かりであり、不透明である。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（本部管理担当）	・Go To Eatキャンペーンや、Go To Travelキャンペーンの積極的な再スタートを期待したい。一方、世界では新型コロナウイルス新変異株が出現し、まだまだ先行きに楽観的な感覚はない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・今年初めに雑貨中心に商品を半額にしたら一見客も買ってくれたので、来年初めもそうするつもりである。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・建築土木関連の人材不足は早急には解決しないため、問題を解決しつつ、ゆっくりとした景気回復になると思われる。

<input type="checkbox"/>	家電量販店（フランチャイズ経営者）	・これ以上悪くはならないと思うが、新型コロナウイルス第6波が来たら予測が付かない。家電業界はコロナ禍でも単籠り消費で比較的上は良かったが、足元では需要が一巡し反動が出ているかもしれない。半導体不足で売れ筋商品の在庫がないのも痛い。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着いた状況ではあるが、経済的な流れは急には戻らない。しばらくはこのような状況が続くと思われる。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・判断が難しく、特に悲観的な材料もなく明るい材料もない。順調にいけば横ばいという見込みである。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・通常ならばこれから新年、年度末と車を売らなければいけない時期を迎えるが、納期遅れの問題もあり、購入決定の決断を促す必要がある。余り強く推すと客に不信感を抱かれかねず、難しい面もある。客との会話でも、いろいろな物の価格が上がってきておりなかなか車まではと言われ、財布のひもはなかなか固い。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔書籍〕（店員）	・今は新型コロナウイルスの感染状況も落ち着いているが、第6波次第と思われ、様子を見ている。以前のような単籠り需要は見込めないの、書店の売上は新型コロナウイルス発生前の水準に戻って変わらないと見込む。
<input type="checkbox"/>	その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	・売上高は前年比マイナス7.8%、前々年比プラス1.8%で、来客数は前年比マイナス10.5%、前々年比マイナス11.4%である。前々年は、9月に消費税増税前の駆け込み需要があったがその反動で10月は落ち込み、前年10月には市と電子マネー会社が連携したキャンペーンを行ったため売上が増加した点が、例年や他地域とは異なる。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（経営企画）	・これまでの我慢から年末年始の来客数、単価アップが見込まれるが、第6波で大人数の制限・自粛があると一部の業種には厳しい。そのため、新たな集まりや機会の創出に取り組んでいく必要がある。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染症は終息しそうになく、宴会需要がない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・例年より少し落ち込むと考えている。現状維持に努めたい。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（スタッフ）	・緊急事態宣言が明けてから客が戻りつつあるが、物価も上がってきているため、財布のひもが緩むかどうかは年末の動き次第である。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（従業員）	・緊急事態宣言で営業を休んで協力したが、いまだに協力金が出ない状況で本当に困っている。
<input type="checkbox"/>	バー（経営者）	・変わらないというか分からない。このまま年末を迎えれば、年明けからの状況は全く未知である。忘年会等の自粛ムードはあるものの、少人数や若者は出ていると感じる。新型コロナウイルス新変異株も出てきてしまい、韓国でも再び新規感染者数が増えてきている。第6波は必ず来るといわれているなかで、2～3か月先の予想が全く付かないのが正直な気持ちである。
<input type="checkbox"/>	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・まだまだ様子見の状態が当分は続く。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（支配人）	・今後2～3か月はこのままの低迷が続くことは明らかである。政府が計画している2月からのGo To Travelキャンペーンに期待はするが、一般宴会利用の兆しがみえてこないうちは、身の回りの景気は良くならない。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（経営者）	・Go To Travelキャンペーンの開始時期が不明確なことや、新型コロナウイルス感染の第6波が来るのか、このまま落ち着くのかなど見当も付かないので困る。緊急事態宣言が出れば、また休業状態に陥るので、何事もなくGo To Travelキャンペーンがスタートすることを期待している。事業者には早めに通知してほしい。また、ややこしいので地域共通クーポン券の率は、土日も平日も同じにしてほしい。

<input type="checkbox"/>	旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の出現で入国規制の緩和が停止され、ビジネスマン、留学生や研修生などの入国が再度停止になった影響は、今後様々なところへ波及してくる。具体的には、海外団体旅行客の規制緩和のための実証実験も、1日の入国者数が5000人から3500人へと逆戻りし、ホテルや飲食業の回復が遅れる。さらに、ガソリンや食品関係の値上げが大きく響いてくる。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（営業担当）	・Go To Travelキャンペーン、県や隣県の宿泊割が予定どおり実施されれば、観光業は必ず上向きになるが、新型コロナウイルス新変異株の感染拡大等で第6波が到来すれば、今ある予約が全て取消しになり、元のどん底状態となる。なかなか先が見えない状態である。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・新型コロナウイルス新変異株の問題が出てきている。水際対策を行うということであるが、国内に新型コロナウイルス新変異株が広がれば、また緊急事態宣言が発出される。このまま何もなければ少しずつ良くなるであろうが、2～3か月先のことは全く見当が付かない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（企画担当）	・県のキャンペーンにより旅行や飲食等の業界は良くなってくると思うが、半導体不足の影響やガソリン価格の値上がりにより自動車を中心とする地域産業の先行きは見通せず、全体でみれば横ばい程度ではないか。当社が扱う機器も半導体不足の影響を受け、必要台数の確保が難しくなっている。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・当地は、まずは様子見という土地柄であるため、3か月先では、足元のやや良い状況のまま変わらないと思われる。
<input type="checkbox"/>	テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルス新変異株が出現したことで、影響が出てくる可能性があり、不透明である。
<input type="checkbox"/>	レジャーランド（職員）	・利用の多かった学校団体客は12月でおおむね終了する。今後の集客のピークはクリスマスから年末年始になるため、そのタイミングでの新型コロナウイルス感染拡大や寒波到来がないように願いたい。
<input type="checkbox"/>	テーマパーク（職員）	・このまま新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていけば大丈夫と思われるが、分からない。
<input type="checkbox"/>	ゴルフ場（支配人）	・この先2か月後の入場者予約数は、前年同日と比べかなり増えている。雪などの天候にも左右されるが、今後2～3か月は現状の好調を維持すると思われる。
<input type="checkbox"/>	その他レジャー [スポーツレジャー紙]（広告担当）	・変わらないというより分からない。新型コロナウイルスの感染状況がこのままで推移すれば良くなっていくが、感染が再拡大すれば悪くなっている。先々の感染状況は現時点では全く分からないため、分からないとしかいえない。
<input type="checkbox"/>	美容室（経営者）	・年配者などは第6波を心配して少し慎重になっている客もいるため、まだ当分はこの状態が続く。
<input type="checkbox"/>	その他サービス [介護サービス]（職員）	・年末は例年どおり売上増加が見込めるが、季節要因である。
<input type="checkbox"/>	設計事務所（経営者）	・良くなる気配がない。以前は、来月には案件をお願いするなどと言われることがあったが、最近はそのような声掛けはない。
<input type="checkbox"/>	設計事務所（職員）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収束して景気回復に向かう状況であるが、計画的な回復に向けた政策や改革が全く見当たらない。
<input type="checkbox"/>	その他住宅 [住宅管理]（経営者）	・2年連続で縮小開催されていた寺の除夜の鐘が、今年は通常どおり開催されるようになり、照明設置や看板などの依頼がある。大勢の参拝客が期待されて、来年こそ景気の回復が進むと考えている。
<input type="checkbox"/>	その他住宅 [室内装飾業]（従業員）	・住宅の新築工事は相変わらず低調であるが、リフォーム工事及び工場の老朽化による建て替え工事などが、数件確定してきている。
<input checked="" type="checkbox"/>	百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルス新変異株の動向次第であるが、再度の感染拡大の懸念があり、少し良くなっていた消費者マインドも下降傾向となって、クリアランスセールやバレンタイン催事にも影響が出てくると想定される。売上が回復する要素が、なかなか見つからない。
<input checked="" type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・新型コロナウイルス新規感染者数が大幅に減少してきている。新型コロナウイルス新変異株が増えてこない限り、以前のように外出や外食をしていた通常の生活に戻っていくと思われ、内食需要は減っていく。

	▲	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、少しずつ外への意識の強まりを感じる。なかなか量販店には厳しい状況が続くと見込んでいる。
	▲	スーパー（ブロック長）	・新型コロナウイルス新変異株の報道や情報で、年末年始の人の動きによる新型コロナウイルス第6波の懸念があり、不安を拭えない。
	▲	スーパー（販売担当）	・原油価格の高騰、円安の悪影響、新型コロナウイルス新変異株等の懸念材料が、来月辺りから購買意欲に水を差しそうである。対面販売の化粧品等の長期的な不調はまだまだ続きそうで、起爆剤に欠ける展開になりそうである。
	▲	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス新変異株の流行が気になる。予想していたような景気回復感はない。
	▲	コンビニ（企画担当）	・足元での国内の新型コロナウイルス感染状況は非常に落ち着いているが、今後、新型コロナウイルス新変異株拡大の影響を受けると急激に悪化する可能性もあり、楽観視できない。
	▲	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス新変異株の出現で第6波を心配する人も多く、景気回復に水を差す。
	▲	コンビニ（店員）	・年が明けると、1月前半は来客数が減るように思う。
	▲	乗用車販売店（従業員）	・とにかく生産が遅すぎる。新車が発売されてもすぐ納期が半年近くなり、納期を聞いて買うのを諦める客もいる。
	▲	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの第6波が非常に心配される。夏場と同じように、また大変な状況になるかもしれないと考える。
	▲	その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・来春からの値上げが相次いでいる。自社で吸収できる余地は少なく販売価格に反映させる予定で、販売量の減少を予想している。
	▲	観光型ホテル（経営者）	・Go To Travel キャンペーンが1月か2月に再開するであろうといわれている。施行時期によっても随分変わってくるが、このような具体策がなければやや悪くなる。イレギュラーな政策の発表によってかなり変わってくるが現段階では分からない要素が大きいため、景気はこのままの状態か、やや悪くなると判断した。
	▲	都市型ホテル（従業員）	・予約数から景気はやや悪くなると判断する。
	▲	都市型ホテル（総支配人）	・新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきたため、年末年始の到来とGo To キャンペーンの再開に期待していたが、新型コロナウイルス新変異株の出現により、先は見えない状態である。その一方で様々な仕入価格が10%程度上がっており、経営状態はより一層厳しくなっている。
	▲	旅行代理店（経営者）	・県の観光振興策のお陰で足元の売上は好調であるが、12月31日の終了以降が全く見通せない。
	▲	テーマパーク職員（総務担当）	・新型コロナウイルス新変異株が出てきて、また感染が拡大してしまう懸念が生じている。
	▲	観光名所（案内係）	・次から次へと新型コロナウイルス新変異株が出てくるというニュースばかりで、良いことは余りない。先行きの見通しは暗い。
	▲	パチンコ店（経営者）	・コロナ禍の影響は一巡したが、元の客がまだ帰っていない。
	▲	美顔美容室（経営者）	・例年のことであるが、年末年始はこの家庭でも物入りになり、来店やケア商品購入が少なくなる。
	▲	美容室（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の影響がある。
	▲	住宅販売会社（従業員）	・資材等の高騰も低金利によってカバーしているところがあるが、それがいつまで続くのか。貸出金利が上昇したときに返済ができるのかを考えると、需要は一気に冷えてしまう。その時期が到来するのが不安である。
	×	乗用車販売店（販売担当）	・半導体不足の影響が今後ますます出てきて、年明けからはかなり厳しくなると思われる。
	×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株や第6波に対しての恐怖心もあり、外出を控える人が多くなる。
	×	理美容室（経営者）	・物価や税金が上がるため、段々と景気は悪くなっていく。
	×	理容室（経営者）	・これからまだまだ皆大変だと思う。
	×	住宅販売会社（経営者）	・年末年始は不動産業の活動は毎年少なく、業界全般が冷え込む。3月まではなかなか難しいと思われる。
企業動向	◎	輸送用機械器具製造業（管理担当）	・外出規制が緩和され、足元より更に外出が増えると思う。

関連 (東海)	○	電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第であるが、本来なら年度末には設備投資があるので期待している。
	○	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・米国製の機種はまだだが、カナダ製の機種が動き出している。
	○	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・完成車メーカーから、今後部品の供給不足や半導体問題は多少改善に向かい、生産台数は増えると聞いている。
	○	輸送業（エリア担当）	・新型コロナウイルスの感染が収まっているが、通販は多いままで、企業の動きも活発になってきた。しかし、ガソリン価格が高いので利益は圧迫される。
	○	通信業（総務担当）	・とにかく人流が全国で戻ってくることで、移動・宿泊等の観光サービス業、外食などの飲食業、土産販売等の小売業が回復すれば、各地ににぎわいが戻る。
	○	不動産業（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少していく状況は継続すると思われ、外出や遠出する人が更に増加すると予想している。売上は徐々に回復していき、前年を上回る状況が当面は見込まれる。
	○	不動産業（経営者）	・大都市圏という地域限定だが、活発な問合せは継続している。
	○	広告代理店（制作担当）	・年明けに新型コロナウイルス新規感染者数が増えなければ、各企業の広告販促活動も活発に動き出すと思われる。
	○	行政書士	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減っている。
	□	化学工業（総務秘書）	・新型コロナウイルス新変異株の拡大、第6波のおそれはあるが、これまでに波が来ても乗り越える経験を積んだため、経済活動をしながら感染防止対策もできるという自信を得たのではないかと。首相も変わり、これまでの反省を踏まえた指示を出す期待がある。このような自信と期待を備えた心理状態が、景気には良いと考える。
	□	金属製品製造業（従業員）	・来春に例年どおりの仕事量が出てくるか懸念もあり、良くなる方向ではない。
	□	一般機械器具製造業（経営管理担当）	・受注、販売量の見込みが変わらない。
	□	一般機械器具製造業（営業担当）	・部材価格と物流コストの高騰が止まらないため、状況が好転するとは思えない。
	□	電気機械器具製造業（営業担当）	・代替部品の対応も難しく、しばらくこの状況が続くそうである。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・新規引き合い等は全くなく、既存製品が横ばいで継続しているため、販売量も横ばいが続くと思込まれる。
	□	建設業（役員）	・年度末の繁忙期に期待したいが、12月に発表となる政府の来年度住宅施策予算が購入を促進するような特別な施策でない限り、好転は厳しいのではないかと考える。
	□	建設業（経営者）	・客も工事を発注するかどうか迷っている様子である。政治や新型コロナウイルスの感染状況が安定しなければ、景気も安定しない。
	□	建設業（営業担当）	・衛生面からなくなることはない仕事ではあるが、行政では維持管理費等の予算が削られていくと思込まれるため、新型コロナウイルスの影響で減ったマイナス分がこれからの仕事で相殺を見込めればよしと考える。
	□	輸送業（経営者）	・海上及び航空利用の物流の混雑に収束の見通しが立たないことや海外のコロナ禍が収まらないことによる資材、部品不足から、物量の大幅な回復は望めないと思われる。
	□	輸送業（従業員）	・このまま新型コロナウイルスの感染が収束あるいは抑制されれば徐々に景気も上がるが、第6波への懸念で一進一退の状況であると思われる。
□	輸送業（従業員）	・受注量は増えているが、運送業は走って何ぼである。そのためには燃料が必要となるが、燃料価格の高騰や尿素水の品薄などいろいろな問題が出てきている。運賃は上がりそうにないため、忙しいだけで苦しいのは変わらない。	
□	輸送業（エリア担当）	・第6波が懸念されているものの、新型コロナウイルスの感染状況は収まりつつあり、景気に上向きの兆しがみられる頃かと思うが、さほどそういう兆候はみられず、取扱荷物量も上向かない。年明けから急激に取扱荷物量が増えてくるとは考えられないため、現況の水準で推移する。	
□	輸送業（エリア担当）	・新型コロナウイルスの影響はしばらく継続すると予想する。	

	□	通信業（法人営業担当）	・様々な政策による景気の底上げ対策等があるが、ガソリンの高騰等、消費者は非常に厳しい状況にある。緊急事態宣言が発出される前の状態にまで戻るには、まだまだ時間が掛かる。
	□	金融業（従業員）	・新型コロナウイルス新変異株の影響が考えられるため、現段階では良くなるとは言い難い。しかし、我慢は3か月といわれているように、その後は景気が回復していくと思う。
	□	金融業（従業員）	・比較的上向きなムードが強いが、企業によって2極化しており生産でも大小の差が大きくなっているため、全体としては変わらない。
	□	金融業（企画担当）	・自身の動きも含めて、新型コロナウイルス発生前に戻るのはいま少し足元の状況が続いてからという様子見の人が多し。皆、まだ手探り状態であり、緩やかに回復に向かっている途中である。
	□	新聞販売店〔広告〕（店主）	・折込チラシは、徐々に良くなっているぐらいなので、余り変わらないと思う。
	□	公認会計士	・中堅中小企業の生産性向上は短期では実現できない。中堅中小企業の後継者問題についても解決には時間を要する。これらに関する政府の最低限の施策はあるが、力強くスピード感のある施策がない。
	□	会計事務所（職員）	・インフルエンザの流行や新型コロナウイルス感染の再拡大を警戒して、従来の年末年始のような活動は少し自粛されると思われる。
	□	その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・まだまだ新型コロナウイルスへの警戒心が続いており、イベント開催者の不安が取れるまで引きずると思われる。
	□	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・回復するにはまだ1年は必要と考えている。この間はあらゆる知恵を絞って耐えなければならない。取引先の掘り起こしや新製品の展開など、大いに進めるべきと考えている。新製品は、新聞社主催の中小発明大賞に応募している。
	▲	食料品製造業（営業担当）	・受注量、販売量が現時点で戻る見込みがない。
	▲	食料品製造業（経営企画担当）	・原材料価格の高騰傾向は当面続くと予測される。新型コロナウイルス感染の再拡大についても依然として予断を許さず、消費マインドは低位で推移すると思われる。
	▲	パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・半導体不足、急激な円安や原材料の値上がり等があるが、当面は販売価格に転嫁できず収益面は非常に苦しい状況が続く、景気はやや悪くなる。
	▲	化学工業（営業担当）	・中国が2月より春節に入り、また、北京オリンピック・パラリンピックの影響で工場が止まる。中国から原料が入らなくなるなど影響が出る見込みである。
	▲	窯業・土石製品製造業（社員）	・原料の入手困難が現実となり、価格が5割アップし、かつ納期が3か月以上遅れる原料もあって製造できない製品が出てきている。注文があるのに売上が伸びない状況になりそうである。
	▲	鉄鋼業（経営者）	・鋼材や木材の原材料高で、建築など着工予定の中小案件が止まっている。中小企業にとっては、良い材料がほぼない。
	▲	金属製品製造業（経営者）	・販売単価の上昇が見込めず、景気は悪くなると考える。
	▲	電気機械器具製造業（総務担当）	・市場環境は悪くはないが、部品不足による生産への影響やコロナ禍がどこまで続くのかといった不安感がある。
	▲	通信業（法人営業担当）	・新型コロナウイルス第6波の動向に尽きる。
	▲	会計事務所（職員）	・原材料の不足や値上がりが続く、売上は増えず利益も確保しにくい状況となっている。新型コロナウイルスはほぼ終息しているが、しばらくこの状況は解消される見込みもないため、依然として厳しい状況が続くと思われる。
	×	*	*
雇用 関連 (東海)	◎	人材派遣会社（営業担当）	・来年度に向けて人材確保の動きが活発化すると考える。それに伴い求職者も動き始め、中途採用及び派遣市場は足元よりも活性化すると考えている。
	○	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス感染症の第6波が懸念されるが、現状では少人数での宴会の予約も入ってきている。
	○	人材派遣会社（企画統括）	・新型コロナウイルス新規感染者数が低位に推移するなか、もろもろの規制緩和が経済活動を後押ししている。

○	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染第6波がなければ、企業活動が活発になっていき求人数は増加していく。
○	人材派遣会社（営業担当）	・主要客との取引量が大幅に増える可能性は低いですが、他の客との取引が増えつつあり、所属拠点のエンジニア稼働率は2%ほど上昇が見込まれる。
○	アウトソーシング企業（エリア担当）	・当地区の自動車製造において、11月は土曜日勤務を踏まえた増産体制であった。増産に対応するための労働力の確保と労働時間管理は大変になりそうである。
○	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・今後の新型コロナウイルスの感染状況によるが、落ち着いていけば人も動くので上向きになると思われる。
○	職業安定所（所長）	・ペースは緩やかではあるが、徐々に新規求職者数は減少し、新規求人数は持ち直しがはっきりしてきた。
○	職業安定所（職員）	・前年同月比では新規求職者数が6か月連続して減少し、有効求職者についても3か月連続で減少している。ただし、パートタイム希望の有効求職者数は前年同月比で16か月連続増加しているため、家計は依然として厳しい状況がうかがえる。
○	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス新規感染者数の減少により以前の生活に戻りつつあり、景気は少しずつではあるが回復していくように思われる。他方、半導体の不足、原材料高もあり、先行きに不安がある。
○	学校〔専門学校〕（就職担当）	・主な就職先が医療機関である本学では、新型コロナウイルスによる影響は減少傾向にある。まだ内定時期の遅れはみられるものの、前々年並みの採用数に戻りつつある。
□	人材派遣会社（経営企画）	・新型コロナウイルス新変異株の動向による。
□	人材派遣業（営業担当）	・新型コロナウイルス新変異株の状況によって動向は大きく変化すると見込んでいる。このため、どの企業においても様子見の段階であり、大きな変化はないと想定する。
□	人材派遣会社（営業担当）	・Go Toキャンペーンなどの経済対策への期待もあるが、第6波の懸念もある。
□	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が新型コロナウイルス新変異株の出現などでまだ落ち着かないので、当面は現状レベルと考える。年末年始に久しぶりの外出が増加しても結果として年明けの新規感染者数が落ち着いていけば、もう少し上向くのではないかとと思われる。
□	職業安定所（職員）	・求人数の増加はあるものの、半導体不足、円安や新型コロナウイルス感染症の動向に注視する必要がある。
□	職業安定所（職員）	・求人数が増加する一方で、求職者数も増加している。新型コロナウイルスが直接影響しているとはいえないが、地域の景況感としては、もう少し様子見が必要と考える。
□	職業安定所（次長）	・産業別新規求人数を前年同月と比較すると、基幹産業である製造業を始めほとんどの産業で増加しており、景気回復への期待を感じるものの、海外での新型コロナウイルスの感染拡大、新型コロナウイルス新変異株の感染も広がっている。引き続き新型コロナウイルスの感染状況を注視していく必要がある。
□	民間職業紹介機関（窓口担当）	・足元の新型コロナウイルス感染症が落ち着いた状況下では求人数も上向きであるが、年末年始での感染拡大の懸念があるため、まだ通常どおりのラインまでの回復は見込めない。
□	民間職業紹介機関（営業担当）	・年末で転職希望者の動向は沈静化し、年明けから、4月以降の入社に向けて潜在層が動き始める見通しである。
▲	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス新変異株の流行が懸念される。
×	—	—